

小学六年

国語

解答と解説

1

問一	黒	21
問二	野	21
問三	イ	22
問四	ウ	23
問五	④	23
問六	イ	24
問七	⑦	24
問八	エ	25

問五				
に	れ	待	と	早
思	ば	外	の	緑
う	な	れ	け	が
気	ぜ	で	ん	毎
持	泣	が	か	日
ち	い	っ	で	泣
。	て	か	は	い
	い	り	な	て
	た	し	か	い
	の	た	っ	た
	か	が	た	原
	と	、	こ	因
	不	だ	と	が
	思	と	が	自
	議	す	期	分

26
27
28
29

2

問一	1	
問二	イ	37
問三	2	
問四	ウ	38
問五	3	
問六	エ	39
問七	ウ	40
問八	問三	
問九	イ	41
問十	衝	
問十一	動	
問十二	に	42
問十三	ブ	
問十四	レ	

問九	も	
問十	の	
問十一	の	
問十二	じ	
問十三	よ	
問十四	う	
問十五	ず	35
問十六	瞬	
問十七	思	
問十八	っ	
問十九	た	
問二十	。	36

問六	i	
問七	オ	30
問八	ii	
問九	ア	31
問十	iii	
問十一	イ	32
問十二	胸	
問十三	を	
問十四	張	
問十五	れ	
問十六	る	33
問十七	問八	
問十八	ア	34

	5	4	3			
⑥	①	①	①	問九	問八	問五
軍備	運輸	エ	オ	1	1	レ
⑦	②	②	②	コ	報酬	バ
65	60	55	50	レ	系	ー
⑧	③	③	③	ク	が	を
66	61	56	51	タ	強	押
⑨	④	④	④	1	2	問六
67	62	57	52	承認	46	ア
⑩	⑤	⑤	⑤	欲	エ	イ
68	63	58	53	求	47	ウ
⑩	⑤	⑤	⑤	求	48	エ
69	64	59	54	問十	49	オ
飼	祝福			イ		理
						性
						44
						45

(配点)

{ ①〔問四〕各3点、〔問五〕7点、〔問六〕各2点、他各5点 }
 { ②〔問一〕各2点、他各5点 } 計150点
 { ③④⑤各2点 }

【解説】

1 村上雅郁の「きみの話をきかせてくれよ」(フレール館)

から出題しました。

周囲から浮きながらも努力して好きな絵を描き続ける六花が、ずいぶん前に仲たがいでしまった親友の早緑と久しぶりに会い、おたがいに思っていることを話し合っている場面です。

問一 B1 具体化

「だれに聞いたの？」と言われた早緑は「くろ……」と言いかけて、「いや、いいじゃん。そのことは」とごまかしています。本文中で早緑がだれから六花のことを聞いたかは明らかになっていませんが、「くろ」という名前の一部と、この後に続く話の中で二人をもう一度向き合わせる仲介役を果たしていることから考えて、「黒野」が正解となります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 関係づけ 比較

② 直前で六花が言ったのは「なんか、ひさしぶりだね」という言葉です。確かに二人で会って話すのは久しぶりなのでその通りですが、逆に言えば言っても言わなくてもいい、大して意味のない言葉です。このことから、イが正解となります。

問三 B1 具体化 比較

線③の二行後に「わかったからだ。早緑が、あの日の続きを話そうとしている」とあります。直接的にはこの

部分が理由となります。二人の仲が冷え込んできたこと、たあの日のことを話そうとしている早緑に気づき、「聞くのがこわい」と感じているのです。したがって、ウが正解となります。ア「何を言おうとしているのか想像もつかず」、イ「許したくない気持ち」、エ「また注意されるのではないか」がそれぞれ誤っています。

問四 A2 知識 比較

語句の意味を答える問題です。原則として辞書の意味がもとになっており、それをふまえて文章中での意味をとらえましょう。知らなかった言葉がある場合は、できるだけ例文の形で覚えるようにしましょう。

④ 「予防線を張る」は、相手に嫌な印象を持たれたり怒らせたりしないために、事前に言い訳や弁解をしたうえで何かを伝える時に使われる表現です。

⑦ 「一心不乱」は、「一心」、すなわち一つの物事に心を向けて、「不乱」、すなわち乱れることなく取り組むことを指す言葉です。

問五 B2 具体化 推論

直前の場面で、六花は「ちよっぴり期待して、それからがっかり」しています。これは、早緑が泣いていたという話自分との仲が悪くなったことを悲しんでのものだということを期待したが実際はそうではなかったことに向けられたものです。そのようにつながりはしたのですが、今度は「じゃあ、

何で毎日泣いていたの？」という疑問が生まれます。この一連の流れが「つて……ええ？」という短い表現にふくまれていくのです。これらの内容を盛りこんでまとめましょう。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字(ごじだつじ)が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問六

B1 関係つけ 比較

適当な副詞を空らんに入れる問題です。

i 早緑が自分の思いを話し、感情が高ぶっている場面ですが、話している早緑を差し置いて六花の方が先に泣き出しちゃっています。まさかこのタイミングで六花の方が泣き出すと思っていなかった早緑は、あわててハンカチを取り出しています。したがって、オ「あわあわと」が入りません。

ii 体育館のすみで六花のことを思い出している早緑のところへ、黒野くんは前ぶれもなくやってきて六花のことを話し始めています。したがって、ア「ふらつと」が入りません。

iii 直後に「かがやくような顔で」とあることから、イ「きらきらと」が入ります。

問七

B1 具体化 関係つけ

「しかるべき」は漢字で「然るべき」と書き、「しかるべきとき」全体では「そうであることが当然であるべきとき」、すなわち「そうすべきとき」という意味になります。早緑は、六花に自分の本心を打ち明けるには、自分をもっと陸上を好きになって、努力して、六花に誇れる(ほこ)ような自分にならないと考えています。このことが書かれているのは、本文の最後で早緑が夕日の光を浴びながら話している場面です。

iii の二行前に「胸を張れるような自分」という表現が見つかります。

問八

B1 理由 比較

「とげとげしてる」と自分で感じるような声で早緑が話したのは「……六花は、絵を描くのが、ほんとうに好きだから」という言葉です。六花のことを述べていながら、同時に自分のふがいなさに思い至り、「努力できる六花に比べて私は……」と卑屈(ひく)になつていく様子を読み取れます。したがって、アが正解となります。イ「好きになつたり嫌(きら)いになつたり」、ウ「許したくないという気持ち」、エ「本当は自分の方が六花よりすごいはずだというプライド」がそれぞれ誤っています。

問九

A2 知識

条件に合うのは「好きこそものの上手なれ」です。これと反対の意味のことわざは「下手の横好き」があります。ことわざは、同じ意味を表すものや反対の意味を表すものと組み合わせ覚えて覚えるようにしましょう。

問十

B1 関係つけ

抜けている文を元の場所に戻す問題です。「ふり返らずに立ち去ってしまったのか」という内容から、六花が早緑のどちらかが「ここから逃げたい」と思っている部分を探すこととなります。早緑が六花に自分の思いを伝えようとしていることから、「逃げたい」と感じているのは六花だということになります。——線③の直前で「ずっと言いたかったことがあって」と早緑に言われた六花は、「あの日の続きを話そうとしていいる」と理解し、逃げ出したい気持ちになっています。前後とのつながりを考えると、「逃げだそうかと、一瞬思った。」の直後に戻すこととなります。

2

毛内括「『氣の持ちよう』の脳科学』（筑摩書房）から出題しました。

「報酬系」と呼ばれる脳のしくみと、それが人間にどのような影響をあたえているかについて述べた文章です。

問一

B1 関係つけ 比較

空らんにあてはまる接続詞を考える問題です。選択肢になっている接続詞そのものの働きを確認し、前後内容と照らし合わせてふさわしいものを選びましょう。

《1》の直前には、吊り橋効果の具体的な内容が書かれています。直後には、これをまとめる形で、同じ体の状態でも、どう解釈するかによって結果が違ってくるという内容が書かれています。したがって、イ「つまり」が入ります。

《2》の直前には、最もドーパミンが高まる状態は、予測を上回る褒美がやってきたときだ、ということが書かれています。直後には、脳は報酬を予測し、実際得られる報酬が大きくなるように行動を決定している、という結果が書かれています。前の内容が根拠となつて後の内容につながっているのです。ウ「したがって」が入ります。

《3》の直前には、衝動を理性でおさえられるのが、前頭前野が発達した大人の振る舞いであるということが書かれています。直後にはこれと対照的に、前頭前野が未発達な若者や衰えてきた老人は衝動をおさえることが難しい、ということが書かれています。前後で対照的な内容があることから、エ「ところが」が入ります。

問二

B1 具体化 比較

「快」というポジティブな情動は、生命に危険をおよぼすものを遠ざけるために直接的に必要なわけではないので、「不快、嫌悪、忌避」といったネガティブな情動に比べると必須であるということがいまちピンとこないのではないかと、というのが筆者の考えです。《2》の次の段落に「快」というポジティブな情動について書かれており、これが「生存に有利に働いた」と説明されています。この部分を参考に検討すると、ウが正解となります。ア「できるだけ危険を冒さないで」、イ「自分の生活する環境の中で」、エ「環境とは無関係に」がそれぞれ誤っています。

問三 **B1** 関係づけ **比較**

②前後では、未来志向であるドーパミンの作用が人間において他の動物より強いことが示されています。「ひいては」とありますから、その先につながるような人間の特徴を説明した内容が②に入ることになります。「未来志向」という言葉から考えると、人間は現在よりもっと先のことを考えて計画を立てることができる、ということになるでしょう。したがって、イ「長期的」が入ります。

問四 **B1** 具体化

前頭前野の働きとして、本文では「衝動を適切におさえる」ことが紹介されています。——線③直後には「衝動をおさえられない」例しか書かれていませんから、この内容を意識しながら別の部分を探すことになります。すると、⑥の四行前に「衝動にブレーキをかけるはずの前頭前野のはたらき」という表現が見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五 **B1** 関係づけ

④の直後に「ラットのよう」と書かれていますから、★より前の部分で「ラット」の話が出てきたところにもどりましょう。——線①に続く部分でラットが「レバーを押すと電流が流れて神経を刺激することができるとい装置」に入られるとどうなるか、という話がかかれています。この様子と、薬物の「一度始めたら死ぬまでやめられない」という様子が似通っているということです。したがって、「レバー

を押し続ける」が正解となります。

問六 **B2** 具体化 **比較**

統合失調症について説明されている部分と選択肢をいねいに照らし合わせ、正誤を判定しましょう。ア・エは——線⑤以降の四つの段落で書かれている内容と合っています。また、イ「現在この薬が治療の主力となっている」、ウ「年月を経て症状は落ち着いてくる」、オ「陰性症状」がそれぞれ誤っています。

問七 **B1** 関係づけ

⑥の直後には「たがが外れて」という言葉が続いています。「たがが外れる」とは、「しめつけていたもの、じやまになっていたものがなくなる」という意味で、それによってある程度おさえられていたものにおさえがきかなくなる場合にも使われます。この部分はギャンブル依存症の説明で、前頭前野のはたらきが弱いために衝動をおさえられない、という内容です。「衝動をおさえる」という話は——線③の前後で出てきており、その働きを担っているのは「理性」でした。したがって⑥には「理性」が入ります。

問八

1 **B1** 具体化 **関係づけ**

——線⑦の直前を見ると、射幸心は誰にでも備わったものであることがわかります。したがって、一般的に成功率が低いものに当たって良い結果が得られたときにどのようなことが起こるかを考えて、空らんに入る言葉を探すこ

とになります。その内容と「脳の」という言葉とのつながりを考え、⑥の十三行前にある「報酬系が強く活性化する」が正解となります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 B1 具体化 比較

成功確率の低いものに挑戦ちかまするということと、当たった場合に期待以上のものが手に入る、ということが共存している例はエです。

問九 B1 具体化 関係づけ

——線⑧の直後に「1つ目は」「もう1つは」というわかりやすい並列の目印があります。これをたどると、一つ目の性質は「コレクター」であることがわかります。これが1の□に入ります。二つ目は「褒めてもらいたい、注目を集めたい」と思ってしまう性質ですが、五字以内という字数に合いません。本文終わりから六行目の「承認欲求」という言葉がこの内容の言い換えになっています。これが2の□に入ります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問十 B2 抽象化 比較

本文の内容と合っているものを選ぶ問題です。それぞれの選択肢が本文のどの部分の内容と対応しているかを考え、必ず本文にもどって選択肢と照らし合わせ、一つずつ正誤を判

定しましょう。イは②前後の内容と合っています。また、ア「プラスの情動より重要」、ウ「年齢ねんれいが上がりれば上がるほど発達を続けていく」、エ「厳しく区別されている」がそれぞれ誤っています。

3 A2 知識

文の□に適切な外来語を入れる問題です。外来語の持つ意味だけでなく、どのような場面で使われ、どのような言葉とよく一緒に用いられるか、ということも合わせて覚えておきましょう。

4 A1 知識

似た意味のことわざを答える問題です。似た意味、あるいは反対の意味のことわざはまとめて覚えておくのと良いでしょう。